

科目名	地域・在宅看護論Ⅳ	開講年次	2年次後期	
		講義時間(単位)	30時間	
講師名	梅垣亜由美・山下佳美			
授業目標	<p>暮らしの場で行われる治療と訪問看護の実際を学ぶ。  在宅看護の実践に即した知識・技術・態度を修得することができる。  それぞれの状態に応じた看護展開の基礎を理解できる。  臨床判断のプロセスの気づく、解釈する、反応する、省察するを理解する。  現場でどう判断し行動しているのかを学び臨床判断力の実践方法の重要性を理解する。  事例展開や演習を通して直観的推論の実践を体験し実習につなげることができる。</p>			
使用テキスト	地域・在宅看護論①在宅療養を支えるケア:ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支えるケア:ナーシンググラフィカ			
回数	授業内容	授業形態	担当講師	
1~5	在宅看護介入時期別の特徴 主な治療に応じた在宅看護 コミュニケーション・睡眠 呼吸・在宅酸素・人工呼吸療法・ストマー管理 人工的水分・栄養補給法 褥瘡予防・管理・肢位の保持の重要性	講義 グループワーク 演習	梅垣亜由美	
6~15	家庭訪問・初回訪問 在宅看護における看護過程の展開技術 事例を通して在宅療養者の日常生活状況 サービスの提供状況 訪問看護演習(直観的推論の実践)	講義 グループワーク 演習	山下佳美	
16	試験	試験		
評価方法	筆記試験100点(梅垣先生50点・山下先生50点) 授業態度・出席日数・課題レポート			
備考				